

治水事業の効果

～平成25年8月9日の大雨における事例～



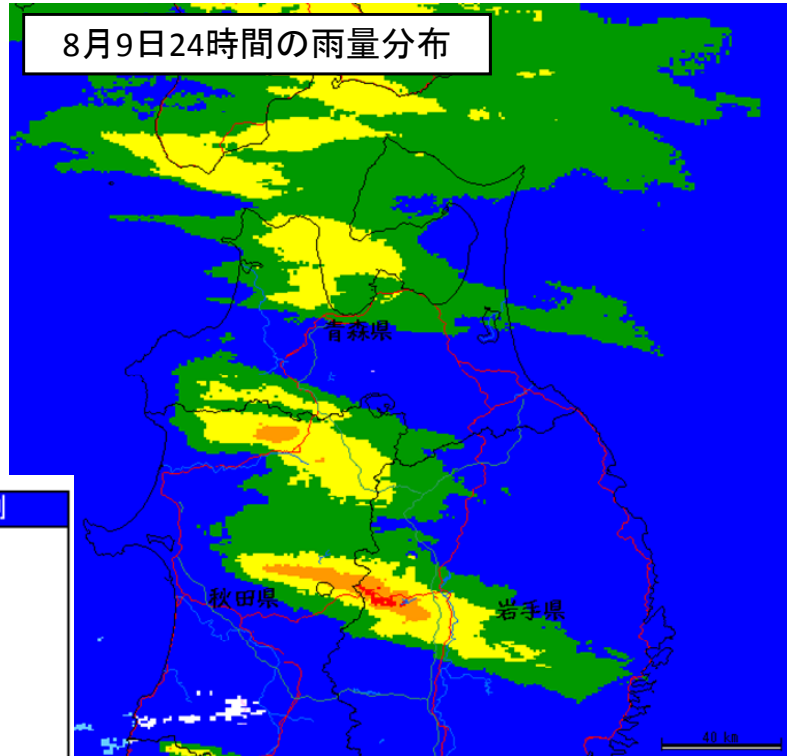
国土交通省 水管理・国土保全局

平成25年 8月

8月9日、北日本では、日本海から湿った空気が流れ込み大気の状態が非常に不安定になり、秋田県・岩手県を中心に記録的な大雨となりました。

この大雨により、岩手県と秋田県中心として、北海道から東北地方北部にかけて浸水や土砂災害が発生しており、早期の復旧を支援してまいります。

一方で、整備した治水施設は効果を発揮しています。

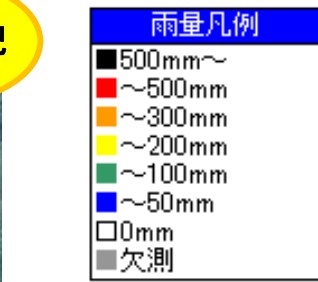


被害の状況

※死者6名
 負傷者2名
 人家全壊5戸
 人家半壊1戸



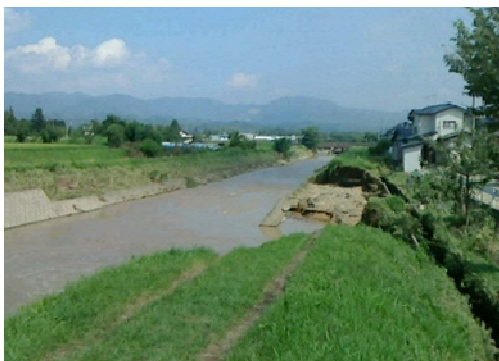
秋田県仙北市
土石流による被害の状況



岩手県盛岡市
がけ崩れによる被害の状況



岩手県紫波町
北上川水系北上川 氾濫状況



岩手県紫波町 北上川水系太田川
堤防決壊状況



岩手県矢巾町 北上川水系岩崎川
堤防決壊(応急復旧の様子)

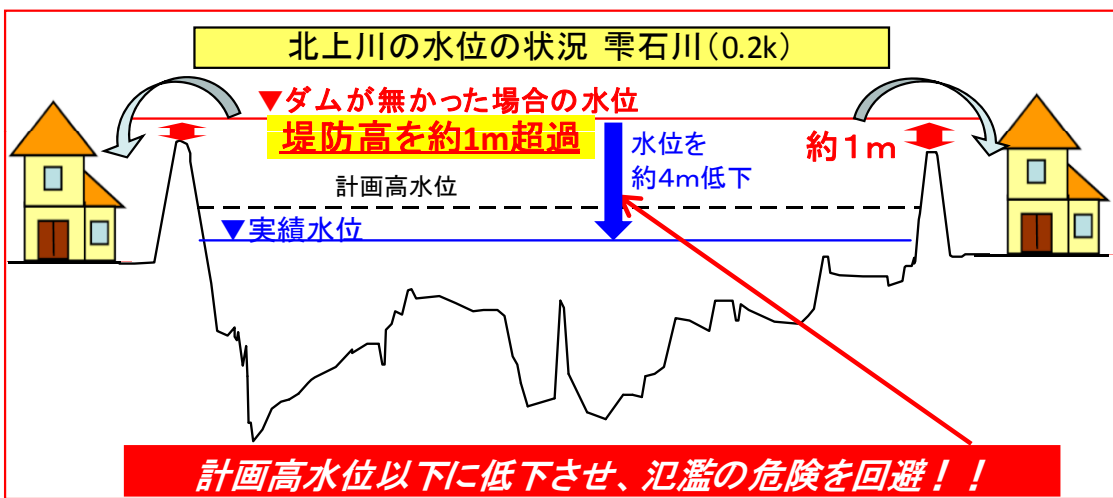
全国の一般被害状況 (消防庁調べ8月14日18:30現在より抜粋)

死者	8
行方不明者	0
床上浸水戸数(棟)	560
床下浸水戸数(棟)	1,294

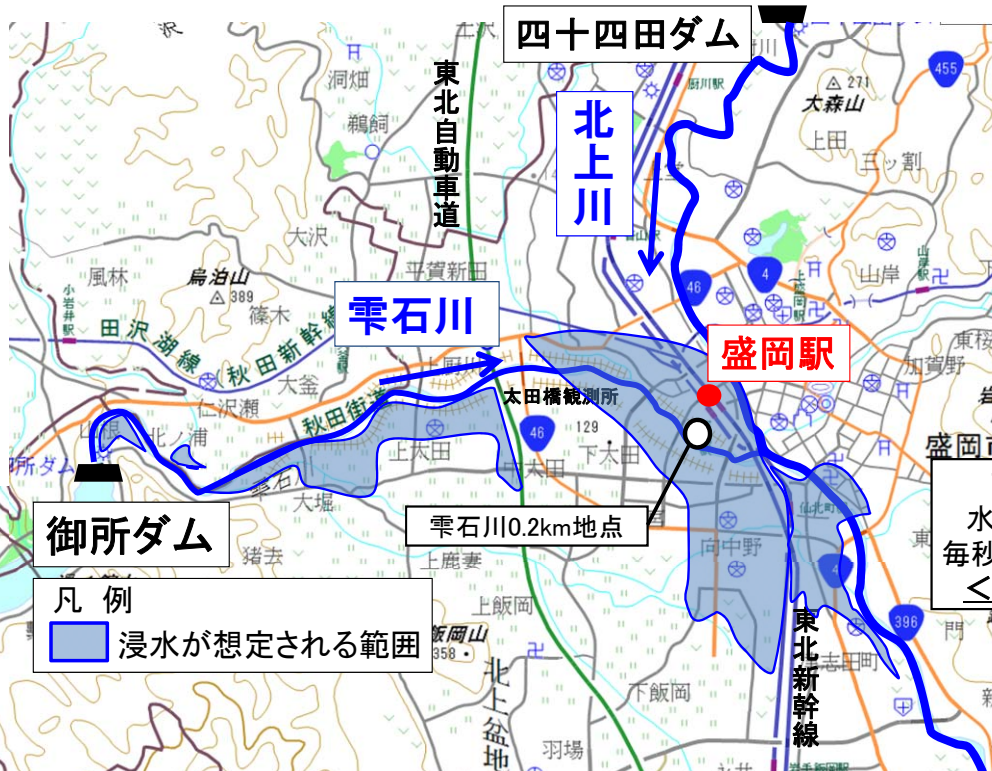
※国土交通省砂防部調べ被害状況

ダムの効果等により市街地の浸水を防止 (岩手県 御所ダム (国管理))

- 8月9日の豪雨では北上川の上流域において大規模な出水が発生。特に御所ダムにはこれまでの最大流入量の1.7倍となる $3,733\text{m}^3/\text{s}$ が流入。
- 御所ダムおよび四十四田ダムの洪水調節等によって下流河川の水位低減を図り、下流の盛岡市(雫石川合流点付近)では避難判断水位以下の水位に抑え浸水被害を防止。
- 仮にダムが整備されていなければ、計画高水位を大きく上回る出水となり、盛岡市街地へのはん濫により、約11,700戸の浸水、約5,500億円の被害が発生していたと推定。



ダムが無かった場合にはん濫が想定される浸水状況

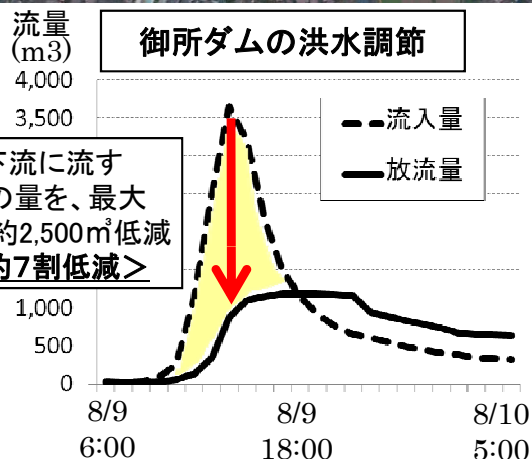


盛岡市街地の状況

- 雫石川の周辺は市街地であり、氾濫した場合の被害は甚大 -



御所ダムの洪水調節



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

下流河川に被害を及ぼすおそれのある流木をダムにより捕捉

(岩手県 御所ダム (国管理))

- 今回の出水により、**御所ダムの湖面には、平均的な年間捕捉量の約25倍に相当する約26,000m³の流木やゴミ等が溜まった。**
- 流木やゴミがそのままに河川に流れた場合、堤防等の河川管理施設に損傷を与えたり、橋梁に引っ掛かることで**流下阻害**を起こしたりするおそれがある。
- ダムにより流木を捕捉することで、洪水の軽減だけでなく、下流河川での流木による被害の軽減にも貢献した。



■御所ダムの流木捕捉量

H19.9.17	H25.8.9
約3,600m ³	約26,000m ³

今回の洪水では、平均的な年間補足量の約25倍の流木を捕捉(これまでの既往最大洪水であった平成19年9月洪水における捕捉量の約7倍)

流木によって生じる被害



流木により流失した橋梁



流木が詰まり流下阻害が生じている例



国土交通省水管理・国土保全局 河川計画課
〒100-8918
東京都千代田区霞が関2-1-3
Tel:03-5253-8443